



みやじ まさひろ
宮路 真洋 さん (41)

まくひとしごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.4

大堀牧場 / 大塚北町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。
今回は、立神にある「大堀牧場」取材しました。



搾乳牛約100頭、肉用牛約250頭を飼育する大堀牧場は、県内で唯一、酪農と肉用牛飼養を営み、年間約800トンの牛乳と約120頭の肉用牛を枕崎牛として出荷します。その代表取締役を務めるのが、宮路真洋さんです。幼い頃から家の仕事の手伝いで牛の世話をしてきた宮路さんは、「学校が休みの日も仕事を手伝わなければならなかったたので、昔はこの仕事が嫌だったと話します。

高校を卒業後、ダイビングのインストラクターを養成する福岡の専門学校に進学します。その後、沖縄でダイビングインストラクターとして2年間勤めました。憧れて就いた仕事でしたが、もともと自分で工夫して、結果が自分に返ってくる仕事をしたいと、畜産の仕事に就くことを決意します。幼い頃から手伝ってきた仕事でしたが、専門的な知識がなかったため、農業大学に進学し、2年間勉強しました。そして、父親と一緒に大堀牧場を営むようになります。

牧場の仕事は朝が早く、午前5時半から約2時間かけて乳搾りを行います。同じ作業を夕方にも行います。1日で1頭当たり約30キロの牛乳が取れるそうですが、搾らないと牛が病気になるってしまうため、1日2回の乳搾りは欠かせません。また、空いた時間でエサを与えたり牛舎の掃除などを行います。牛が過ごしやすい環境をつくります。年間約70頭もの子牛が生まれるため、その出産に立ち会うこともあります。「大変なことも多い仕事ですが、自分で試行錯誤して、取れる牛乳の量が増えたり、肉質が向上したりして結果が出た時、この仕事のやりがいを感じる」と話します。

酪農が進んでいるヨーロッパなどの技術を取り入れ、機械化をより進めていきたいと話すが、宮路さんは、「たくさんの人に『おいしい』と言ってもらえるよう、これからも安心・安全で質の良いものをつくっていきたい」と微笑みま



今月の担当は 中崎隊員です!



こんにちは。あっという間に7月。枕崎にいつもの暑い夏がやってきます。
水分補給と適度な休息。そして今年はこまめな手洗いですね。

地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊 が 行く!

コロナと枕崎

この原稿を書いている段階では鹿児島でのコロナの発生は増えていません。ここ枕崎でも3密を避けたり、飲食店の自粛などもあり、#枕崎エール飯などの活動もありました。誰もが予想しなかった事。各人、マスクをしたり、不要不急の外出を控えたりした結果、感染が抑えられているということにつながっているのかもしれない。

私の仕事はほとんどの時間が畑にすることが多く、3密でもなく過ごしています。もし、自分が東京に住んでいたならば通勤のために満員電車、会社では机がありそこは3密な場所。枕崎に移住した私は、畑仕事をしていたて全くの反対の環境です。地産地消が行われ、食べることに不便もない。地方都市の力、枕崎の底力を発見させられました。

鹿児島水産高校へ

6月4日に鹿児島水産高校の食品工学科の1年生と2年生の課題授業で、ハーブについてお話をさせていただきました。機会を頂きありがとうございました。毎年色々な活動をしていらつしやる食品工学科。市民の皆さんがよく知っている水産高校の缶詰や加工食品は彼らの

実習時間に作られます。今回は私の栽培しているハーブでブラスアになる商品が作れるといいな、水産高校らしい新しい味の提案をしてみたいと思ってお願いをして実現した1コマでした。授業の前半はハーブの使い道からお話をしていたのですが、話だけで聞いていても分からないことも多いので、現物のハーブを持参し、実際に香りを嗅いでいただきました(コロナの渦中でなければ味も感じていただきたかったです)。生徒さん達は反応もさまざま。匂いが独特のパクチーについては、葉っぱの部分は多くの人が苦手なようでしたが、パクチーの実(コリアンダーシード、カレールウにも入っています)の方は爽やかな香りなのでイイ匂いと思われる方もいたようでした。その他にもディルやバジル、オレガノなど、多くの香りが初めての香りだったと思います。私もハーブやスパイスを栽培してまだ1年目。食品工学科の生徒さんと共に切磋琢磨しながら、新しい枕崎の産物を作り出せるように頑張っていきたいと思っています。

市長

コラム

vol.16



想像力をはたらかせる

こんにちは。前田祝成です。

想像力。最近、事あるごとに口にする言葉です。「そうぞうりよく」には二つあって、クリエイティブの「創造」とイメージの「想像」。ここでのいうのはイメージの方の「想像」です。想像力は仕事をする上で非常に重要です。そのことについて書きたいと思っています。

新型コロナウイルス感染拡大が世界中に広がり、なかなか衰える気配がありません。日本は感染拡大が一定の落ち着きを見せて、全国に発令されていた緊急事態宣言は解除されました。しかし、今後の第2波、第3波への警戒が必要な状況には変わりありません。今、世界はこれまで経験したことのない新しい感染症の発生により、将来へ大きな不安を抱えている状況です。

国内外の感染拡大の影響により、ここ枕崎市でも経済活動に大きな影響が出ています。そういう中で私たちが、この感染症とどう向き合い、どのように共存していくべきか、その時間経過も含め、今後の対応については、まさに想像力をはたらかせて対処していかなければならないと思います。特効薬、ワクチンの開発が急がれますが、その開発が進んだとしても、私はここ1、2年は、この感染症との共存は避けられない状況だと考えています。

短期緊急的に対応すべき課題、長期抜本的に対応すべき課題、これから先の社会経済活動の動向を注意深く観察し、いろいろな知恵を総動員して対処していかなければなりません。まさに想像力が試されます。市職員にも事あるごとに、想像力をはたらかせることの重要性を話しています。目先で実際に起こっていることについての対処は、ある意味、簡単です。今後、起こるであろう未来についての対処には、豊かな想像力がモノを言います。そういう意味からも仕事には、想像力が重要で、先の先まで想像して先手先手を打っていく、そんな仕事のやり方が今、求められていると感じています。

関好明日本画作品展

南溟館の名誉館長である日本画家・関好明氏の作品展を開催します。是非ご来場ください。

- 期間 8月2日(日)まで
- 場所 南溟館(第1展示場・第2展示場)
- 観覧料 無料
- 展示作品 「枯葉」、「団地残照」ほか、枕崎市市民会館綴帳原画作品など

枕崎の埋蔵文化財展

お魚センター北側にあった松之尾遺跡から出土した遺物の展示と遺跡の紹介です。

- 期間 8月6日(木)まで
- 場所 南溟館(市民ギャラリー)

●観覧料 無料

勾玉づくり体験

- 日時 8月2日(日) 午前9時~正午
- 場所 南溟館
- 参加料 200円
- 募集定員 30名程度(小学4年生以上)

戦後復興75年のあゆみ〜我がまちふるさと枕崎写真展

戦前〜戦後とその激動の時代を逞しく生き抜いてきた枕崎の人々の軌跡を、貴重な写真資料で展示します。

- 期間 8月8日(土)~20日(木)
- 場所 南溟館(第1展示場・市民ギャラリー)

- 写真募集 7月31日(金)まで写真を募集しています。戦後復興の風景、人々の様子の貴重な写真をお持ちの方は、ぜひ、南溟館までご連絡ください。
- 観覧料 無料

海老原喜之助と郷土の群像展

海老原喜之助没後50年を偲び海老原をとりまく郷土の作家を中心に展示します。

- 期間 8月22日(土)~9月22日(火)
- 場所 南溟館(第1展示場・第2展示場・市民ギャラリー)
- 観覧料 無料

南溟館 イベント情報

- 開 9:00 ~ 17:00
※入館は16:30まで
- 休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
- 問 TEL72-9998